

質問1 あなたの年代を 教えてください	質問5 特集を読んでのご感想・ご意見をご記入ください
30代	今陸上風車から約2キロのところに住んでいますが、騒音で眠れない、起こされる日が年に何十日もあります。中心市街地から近い場所に建てることは公害となる可能性があり問題です。大型の風車の音はどこまで聞こえますか。聞こえないくらい離すべきです。騒音規制ギリギリでは被害が出ているので、聞こえない位置まで離さなければなりません。促進区域の時点で遠くへ設定しなければ、事業者公募で否定できませんよね。事業者は何かと理由をつけて対応しません。結局市役所にクレームが行くのではないですか。一度決めたことは後戻りできないのしょうから、今遠くへ設定べきと考えます。もちろん地球温暖化対策は大切ですが、普通の住宅街に住んでいる人に健康への影響を出してまで押し進めるものではないのではないのでしょうか。苦しんでいる人を切り捨てないよう、切にお願いします。
50代	取材はいらないので市の情報をわかりやすくして下さい。
70代以上	次回も楽しみにしています
20代	「風のまち」という言葉は庄内町ですすでに謳われている文句だと思います。関係ない話かもしれませんが、平田松山八幡地域をもっと盛り上げてほしい。寂しい田舎にしてほしくないです。
60代	風力発電に関する議論、進捗状況を知りたい
40代	やる前提としか見えません。国際的にも標準的な20km沖に設置するのであれば、賛成します。健康被害が出てからでは遅い。広く住民と話し合う機会を作るべきです。
60代	風の町と聞いた場合、北風が強いんだろうなぁと言うイメージを持つと思います。風車発電なんだからもう少し柔らかいイメージのネーミングが欲しい。近年釣り場非常に少なくなっています。なんとか風力発電と抱き合わせで釣り桟橋をつくれないうか？釣人が多く集めれたら酒田にも多少なりとも恩恵があると思うが。
60代	メリットだけでなく予測されるデメリットも教えることも必要
50代	洋上風力は浮体式の技術開発を進め確立してから景観に問題のない沖合いに設置することができたらいいのと思っている。
40代	エネルギー問題はいつまでも課題でしょうね。
60代	実際に市の風力発電した状況を教えてください。
50代	昨今の豪雨や猛暑を思い出せば、未来の子どもたちのために洋上風力発電は進めるべき。私たちは恵まれた時代を過ごしてきたと思います。景観は変わるかもしれないけれど、受け入れられないものではないと思います。まずは一歩前へ！
20代	今できること、地球温暖化対策と地域振興。洋上風力発電は進めるべきでは。秋田で洋上風力発電を見ましたが間隔が空いていて、圧迫感はありませんでした。また、音も気になりませんでした。
40代	友人が近くに住んでいて、夜も眠れないくらい音が気になると言っています！！音が聞こえないくらい陸から離すべきです！！
50代	鳥の配慮、壊れた時や汚染やリサイクル可能なのか？

質問1 あなたの年代を教えてください	質問5 特集を読んでのご感想・ご意見をご記入ください
30代	酒田、遊佐沖は渡り鳥の重要な移動路です。この時期はたくさんのハクチョウを洋上で観察できます。渡り鳥に関して各団体から意見書が出ていますが、全く触れられていないのはなぜですか？鶴岡市では希少種であるクマタカのバードストライクが問題になり風力発電計画が取りやめになったばかりです。意図的に問題点を隠し、メリットだけを提示している記事に思えます。説明責任を果たしてください。
70代以上	現に風向きで風車の音がうるさくて寝られない日もあり頭痛の原因の一つとなっています。そんなに酒田港が発展するとは約束出来ないと思います。電気の欲しい地域の近い場所に設置すればいいのにとおもいます。夜中にブーンブーンという音を感じた事がない人はわからないと思う
40代	風のまち を 市民全員が考える必要があると理解しました！！高齢者は何もしなくても逃げ切れる世代。自分視点しかないので、子供や孫の為にも考えを改めてくれる様な機会が必要だと感じます。
40代	SDGSの四文字を免罪符にして、詳細を曖昧にしたままでな是非を問うのは愚かだと思えます。法定協議会で話し合われる内容は全て公開してください。いじめ問題を黒塗りで放置し、事件の風化を狙う酒田市の信用は地に落ちています。既得権益どものみの利益折衷に終止しないでほしい。市民代表を多数参加させるべき。
70代以上	この問題は、酒田市民の将来にとっても重要なことです。今の政治の流れに乗る前に後悔しないよう、しっかりと議論すべきです。先日、洋上風力発電の勉強会に参加しましたが、その時に住民の意見をしっかりと聞かなくてはいけないと思いました。低周波騒音問題。漁業関係者は本当に賛同しているのでしょうか？お金で動いてませんか？酒田は全国でも雷が多いところです。故障したら修理代はどこがもちますか？また、今でも「電気代に負担金」が加算されていますが、酒田沖にできたら、市民に電気代の還元があるのでしょうか？負担金が増えるのでしょうか？酒田は風が強いから洋上風力発電に良い、と書かれていましたが、強風の時は止めるそうです。意味ないですよ。それと、物凄く高い(東京タワー並みの)洋上風力発電機が酒田沖にずら～と並んだ風景を想像してみてください、ぞっとします。最後に、この酒田市の計画にも利権が絡んでいませんか？
60代	他県、先行地域の健康被害の状況をどの程度調査して今回の記事を載せたのか、疑問を感じます。
70代以上	勉強なりました。
40代	酒田の見晴らしの良い景色が永遠に壊される洋上風力の建設には、絶対に賛成できない。発電にとっては環境に良いのかもしれないが、住む人にとっての環境は壊される事業だ。建設ありきで進んでいる市の姿勢にも辟易する。
20代	洋上風力発電について、酒田市の特性からバードストライクを予防するという観点からも垂直軸型マグナム式風力発電を導入するのはいかがでしょうか。騒音低減、強風耐性の向上にも繋がりが、また日本の技術／製造という意味でも市民の納得や信頼も得られやすいのではと考えます。供給の安定という意味で自然エネルギーは発展途上なのだと思いますが、海側の土地だからこそ得られる半永久的なエネルギーをうまく活用し、環境負荷や資源消費を軽減していけるよう、今後の発展を期待しております。
70代以上	反対者が、いる割には？話が進みすぎていませんか？のかな??
70代以上	知らないことが、まだまだあるとしりました
50代	酒田市内に在住している人達の集まりやすい環境をもっと考えるとと思う

質問1 あなたの年代を教えてください	質問5 特集を読んでのご感想・ご意見をご記入ください
60代	核融合によるエネルギー確保を考えた企業誘致のほうが、将来性があるのではと思います。洋上風力発電は長い目でみたら割高なのではないかと。
60代	強い風と自然との関わり、有効活用を望む
60代	自然を活用してエネルギーを有効利用する事、今後益々重要になり酒田市に貢献することができる。
70代以上	正直 まだ カタカナ文字 にかまけて 読んでいません
60代	風車の建て方も景観がに配慮してほしい！
50代	太陽光とか、風力発電の利権に絡まないで下さい。
40代	分かりやすい編集されていた。
60代	すごく気になる特集ではなかった。
70代以上	地球温暖化をストップさせる為、出来ることは早くやらないといけないと思う
70代以上	風力発電は大反対します。利権まみれの再エネルギー。科学的からいっても将来に明るい展望はないと思います。今だけ金だけ自分だけの政策には反対です。
50代	新型コロナや世界各国の戦争等が起き、観光資源が無効化した場合の資源の柱として、本事業は積極的に進めるべきである。酒田を担う次の世代の働き口、財源の確保のためにも必要性は高いと考える。
70代以上	風力発電は反対です。以前長期間の道路工事中に低周波による健康被害にあい死にたくなるほどでした。温水器までバルブが弛んで水漏れしました。今は 元にもどって元気ですし水漏れもしなくなりました。低周波は怖いです。風力発電に絶対反対です!止めてください!!
30代	こういうことも大切だろうけど、もっと子育て支援や子育て世帯のために働きやすく、子育てに優しい町づくりに力を入れて欲しい。
40代	強い風を利用して発電するのは良いことなのかもしれませんが、自分にはあまり関係ないと思いました。
50代	人口減少が加速する中で税収を確保していけないと、今後公共サービスを維持できずに酒田市が立ち行かなくなると考えております。このため、風力による再生可能エネルギーの導入拡大を進める事は、酒田が取り組む事のできる少ない選択肢の1つであることから、他の地域に先んじて対応を進めていただきたい。本間光丘が植林を進めた様に酒田市も先を見据えて風車の設置や誘致に取り組むことで、再生可能エネルギーの生産地としての地位向上と産業育成による税収増加による市民生活サービスの向上、さらには関連産業を含めた企業誘致の原資として寄与できるよう取り組みを進めて頂き、酒田市の子供達の未来に繋げていただきたいと考えます。
70代以上	異常気象、気象環境の変化に大変心配しているところで温室効果ガス排出ゼロを目指して大変良いと思います。
50代	漁師さんの理解が進むよう期待します。
50代	企業は採算が取れなくなったら、ぶん投げて撤退する。供託金を出させるべき。酒田市民が支払う再エネ賦課金以上の収入が酒田市に入るのか?私だったら高性能石炭火力発電をつくらせて、超低料金の電気代にして、産業を呼び込む努力をしたほうが良いと思う。酒田市に吹く風は酒田市民のもので。風力発電をまわせば当然エネルギーは減衰する。米づくりや雨の降り方、雪のつもり方。どこまで影響が出るのか判ってるのか疑問。どうせ国策なんだから、引き換えに未来の酒田市への投資にしてほしい。

質問1 あなたの年代を 教えてください	質問5 特集を読んでのご感想・ご意見をご記入ください
50代	今後も市民に情報をいただければもっと理解出来る
60代	風力発電のプラス面が強調されすぎではないか？都会に送るための発電はいらないと思う。メリットが本当にあるのか疑問です。
70代以上	エネルギー問題を含め取り組んでほしい
60代	カーボンニュートラルは大切です。しかし、酒田市に恩恵はあまりないです。
60代	カーボンニュートラルにおいても、重要な大きな事業であるので積極的に進めて頂きたい。
50代	観光に力を入れてやる事も良いですが医療福祉系の専門学校がない専門学校が
50代	暮らしやすくなる施策が欲しい（温泉設備の補充、新田川など観光ではない市民のための歩きたくなる遊歩道の整備、日本の中でも長い海岸を車で走れるようにし観光の目玉とし活気を呼び戻す今の時代おしんではない、観光客用に駅に鶴岡より先にLUUP導入など）
70代以上	自然も大事ですが、人間の生活が一番大事です。
60代	自然環境に影響が少ない程度なら、どんどん取り入れてもいいと思います。
30代	漁業に関して悪影響を及ぼすというような話をよく聞きますが、良い面について正しく知ることが大事だと特集を読んで思いました。市民が理解・納得して事業が進んでいくために、説明会や広報を通じて正しい情報を共有、周知していただきたいなと思います。
60代	今、地球温暖化で自然界に様々な影響が出ていると思う。脱酸素の取組みは未来に向けて大切な事。
60代	共火から毎日煙突から出る煙。まずは身近な事から先に考えて下さい！
40代	これからも頑張って
60代	他県 他国ですでに実施している所があれば その話を知りたい
50代	是非カーボンニュートラルを推進して欲しい
70代以上	カーボンニュートラルや酒田共同火力発電所の老朽化を考えれば、洋上風力発電は必要なものと思いますが、果たして期待する程の電力量が得られるのか、その辺の情報が欲しいですね。
50代	自然環境は一度壊してしまえば、元通りには取り戻しません。ただ、このまま何もしなければ酒田の街は衰退して一方です。アクションをおこせば当然リスクも伴います。大切なのは次世代に何を遺すか、創れるかだと思います。
60代	風力発電の必要性は理解しましたが、範囲が広いので山と海が観光資源なのに景観が悪くなるのが心配なので反対です。どうしてもと言うのであれば浮遊式にすべきだと思います。技術開発が追いついていないのであれば確定されるまで待つのは仕方がない事だと思います。未来の子供達に顔向けが出来ないには賛成できません。
60代	いろんな意見があるので、ネガな面も記載すべき。
60代	酒田は風の街多めに風車を立てて欲しい。

<p>質問1 あなたの年代を教えてください</p>	<p>質問5 特集を読んでのご感想・ご意見をご記入ください</p>
<p>60代</p>	<p>今回の特集は洋上風力発電がすでに建設ありきで進められている意図が強く感じられました。具体的に何基建設される予定なのかの説明もなく、メリットばかりが強調されているのではと思います。地球温暖化防止、脱炭素、脱原発、再生エネルギーの普及の為に、洋上風力発電は有効な手段である事は認めます。しかし欧米12カ国は22.2kmの離岸距離。中国は10Km、デンマークは12.5km離岸距離をとって建設しています。沿岸の近くに10MW超えの巨大風車を建てている先例は、世界中にありません。遊佐沖から酒田沖に15MW級の巨大風車 高さ270m（東京タワー333m）を離岸距離0Kmから4Kmに80基以上も建設されたら景観も自然環境も様変わりしてしまいます。鳥類への影響でも、離岸距離2Kmではガン・カモ類の渡りルート上にあたる可能性があり影響が懸念されます。特に風車騒音による睡眠障害も心配です。低周波音や超低周波音は波長が長い為、数キロメートル離れた場所でも確認でき、広範囲で健康被害を生じる可能性が指摘されています。低周波音や超低周波音による人体への影響として、心血管系（血圧、心拍数など）の変化や、集中力の欠如、めまい、倦怠感、睡眠障害、鼓膜の圧迫感、振動感などが報告されています。例えば酒田市民に健康被害が出た場合は誰が補償してくれるのでしょうか？酒田市や山形県が補償してくれるのですか？企業だけに補償を負わせるのでしょうか？もし健康被害で住むことが出来なくなったら酒田市の人口の減少は加速する一方です。長岡技術科学大学では今までの風車と原理の違う風車が開発されています。小型で騒音も少なく強風にも対応可能です。もし各家庭にも設置出来るようになれば災害時にも利用出来ますし、廃棄時に困る太陽光発電を取り付けるより風の街酒田にピッタリではないでしょうか？外国製の風車ではなく国産の風車を利用して国の方針に従うだけでなく山形県や酒田で人間や他の動植物にも優しい再生可能エネルギーをぜひ模索して頂きたいと思います。一度、破壊された自然環境は元に戻ることはありません。何としても、この素晴らしい自然環境を未来に残していくことを切に願っています。</p>
<p>60代</p>	<p>環境を守るために早急な取り組みが必要</p>
<p>30代</p>	<p>広報だけでなく、LINEやSNSを使って、カーボンニュートラルについての情報発信をしたり、ミライニでのイベントを通して、酒田にある自然エネルギーについて考える機会を作ったりと、みんなで盛り上げていけたらいいと思います。</p>
<p>60代</p>	<p>正面から取り組んだ記事を書いてください。原稿は担当の課がつくるのでしょうかけれど、この説明では住民は理解できない、と遠慮せずにダメ出ししてよいと思います。</p>
<p>60代</p>	<p>実行する事が前提であり、各種の問題を市民と考える視点が欠如している。</p>
<p>50代</p>	<p>何が言いたいかわからない</p>
<p>50代</p>	<p>設定エリアについては、市街地から離れたところでお願いします。</p>
<p>60代</p>	<p>3ページのQ&Aがひどすぎる。全く回答になっていない。促進区域指定イコール、漁業への影響を及ぼさないことと見込まれることにはならない。影響がないわけがない。なぜ酒田沖？についても着床式が可能な浅い海域を前提とただけ。もっと遠くに？については同意をもらう必要から共同漁業権漁場に絞ったと。このことは漁業や環境、景観、健康被害などに配慮し、科学的、理論的に検討されたものではなく、ただ着床式が可能な浅い海域で、直接の利害関係者が明らかな共同漁業権漁場に重ねただけということ、市が自ら暴露していることに他ならない。これで納得する住民がどれだけいるのか？また、LINE登録している人だけが意見できるのも、広く意見を聞くという姿勢が感じられない。広報で周知した、意見も聞いたという既成事実づくりとを感じる。広く意見を求めるならば、広報に葉書用紙を折り込んで、LINEを使わない人も意見を出せるようにすべきである。</p>

<p>質問1 あなたの年代を教えてください</p>	<p>質問5 特集を読んでのご感想・ご意見をご記入ください</p>
<p>50代</p>	<p>巨大な風車に恐怖心を抱きます。遠く離れば大丈夫です。沿岸から遠く離して設置することをお願いいたします。</p>
<p>60代</p>	<p>酒田市沖洋上風力発電は「有望な区域」に選定されましたが、これまで一度も住民説明会が行われていません。今回の広報にはメリットは簡単にふれられているものの、デメリットの説明はなく、市民に対する情報としては不十分です。遊佐沖については、町内の数か所で複数回にわたり住民説明会が開催されたと聞いています。酒田市でも、市民が参加できる日時を考慮した複数回の説明会を開催してください。</p>
<p>60代</p>	<p>こういう形式のLINEアンケートで意見を求めることに強い怒りを覚えた。これで「市民の意見を聞きました」という実績にするつもりなのだろうか。</p>
<p>40代</p>	<p>この広報配布で、酒田市が住民への説明をしたとみなすのであれば、言語道断。一刻も早く各地域で住民説明会や討論会を開くべき。LINEで意見を募るのも、広く市民から意見を求めようという姿勢に欠いている。</p>
<p>70代以上</p>	<p>自治体と県と国は法に基いて対等です。酒田市は市民の人権によって成り立っている行政組織です。市の将来計画は市民の合意があって推進が可能です。そのためには、市民が理解して支持できる酒田市のエネルギー自律プランでなければならないと思います。</p> <p>カーボンニュートラルを目指すとはありますが、酒田沖洋上風力発電を例に取れば、ネットゼロとするために充当するCO2の吸収源は、森林の場合酒田市内なのか県内なのか、どこから調達するのでしょうか。ブルーカーボンも同様です。吸収源も定量化が求められます。</p> <p>カーボンニュートラルはまた地球温暖化防止対策ではなく、温暖化を推進する対策の限界値を現わすものであります。したがって、カーボンニュートラル以外の気候変動に適応する対策は依然として酒田市の優先課題です。</p> <p>電気は秒速30万kmで地球を巡り、世界の今を私たちにスマホで見せてくれます。しかし電気は送ると熱エネルギーに奪われて300km遠方で機械を動かすのがやっとなです。</p> <p>エネルギーの基本法則を学んで、エネルギーの賢い使い方を、共有したいと思います。</p> <p>再生可能エネルギーは地域の人々が歴史的に利用あるいは、影響を受けている、地域の資産です。首都圏では太陽光発電の義務化が進んでいますが、夜に必要な電気として、風力発電や火力発電にはアレルギーがあるようです。電気はそれぞれの地域で自律させて、地域間で助け合う、知恵とする「電気の民主主義（仮称）」が求められる時代です。</p>